

令和2年度第2回江別市スポーツ推進審議会開催結果

1. 開催日時

令和3年2月17日（水）午後3時30分～午後4時10分
江別市教育庁舎大会議室

2. 出席者

・スポーツ推進審議会委員：10名

金内晴夫会長、花井篤子副会長、古川孝行委員、小林照美委員、原大輔委員、
山下和人委員、竹内由紀子委員、立花宏美委員、小川泰雅委員、堀内眞知子委員
（欠席：浅田眞委員）

・教育委員会事務局：9名

黒川教育長、萬教育部長、千葉教育部次長、三浦スポーツ課長、
遠藤スポーツ交流事業担当参事、中島施設計画担当参事、
半澤スポーツ交流事業担当主査、桶川スポーツ係長、結城主事

3. 開催結果

（1）開 会

委員の過半数の出席を確認し、スポーツ課長が開会を宣言。

（2）教育長あいさつ

黒川教育長からあいさつ

（3）会長あいさつ

金内会長からあいさつ

（4）報告事項

報告事項（1）江別市スポーツ施設長寿命化計画の策定について

- ・施設計画担当参事から、資料に基づき報告した。

○事務局（施設計画担当参事）：

報告事項（1）の江別市スポーツ施設長寿命化計画の策定について、報告する。

本計画については、昨年8月6日開催の本審議会において説明しているが、このたびパブリックコメントを経て、江別市スポーツ施設長寿命化計画を策定したところである。

別紙資料をご覧いただきたい。「江別市スポーツ施設長寿命化計画（案）に対する市民意見募集結果と市の考え方」であるが、パブリックコメントは令和2年11月24日から令和2年12月25日まで募集したところ、2件の意見があった。

意見の概要と市の考え方は、2の（2）に記載のとおりであり、取扱区分は「B 案は修正しないが、今後の進め方等において積極的に参考とするもの」と、「C 案と意見の趣旨が同様と考えられるもの」である。

計画については、別添のとおりであり、8月の審議会で説明した計画案の内容から変更はない。本計画については、1月に書面開催された本審議会において、各委員から特に意見等はなく承認いただいたことから、計画案を1月27日開催の定例教育委員会に諮り、案のとおり決定されている。報告は以上である。

（質疑等 → なし）

報告事項（2）令和2年度スポーツ賞・スポーツ奨励賞・教育委員会賞について
・スポーツ係長から、資料に基づき報告した。

○事務局（スポーツ係長）：

報告事項（2）令和2年度江別市青少年スポーツ賞、スポーツ奨励賞、及び教育委員会表彰について、報告する。

これらの賞は、スポーツ大会において優秀な成績を収めた青少年を表彰するものである。選考基準であるが、スポーツ賞は、全国大会で3位以内、通算2年以上の入賞、全国記録の更新、スポーツ奨励賞は、全道規模の大会で優勝、全道記録の更新、教育委員会賞は、全道規模の大会等で2位又は3位という基準となっている。

贈呈式は、2月20日（土）に、市民会館で開催し、市長並びに教育長から贈呈を行う。来賓として当審議会の金内会長にもご臨席いただく予定である。

それでは、資料3の表紙をご覧いただきたい。今年度は、新型コロナウイルス感染症により各競技の多くの大会が中止された影響もあり、スポーツ賞は、該当者がなく、スポーツ奨励賞は、9個人、4団体の計13件、教育委員会賞は、1個人、5団体の計6件と例年に比べて、大幅に減少する結果となった。

資料の1ページには、スポーツ奨励賞の受賞者を、資料の2ページには、教育委員会賞の受賞者を記載している。

3ページには、年度別受賞者数の推移を記載しているが、本年度、各賞を合わせた受賞数は、19件となった。報告は以上である。

（質疑等 → なし）

報告事項（３）令和３年度スポーツ関係予算（案）について

- ・スポーツ係長から、資料に基づき報告した。

○事務局（スポーツ係長）：

報告事項（３）令和２年度スポーツ関係予算（案）について、報告する。

資料４をご覧いただきたい。この資料では、令和３年度のスポーツ関係予算について、主だったところの予算について掲載している。前年度と変更のある事業や予算の増減が大きい事業について、説明する。

まず、上から５行目の「大麻体育館改修整備事業」については、大麻体育館第１体育室の床のサンダー掛けを行うものである。

７行目の「屋内体育施設管理運営事業」、９行目の「あけぼのパークゴルフ場管理運営事業」、１１行目の「森林キャンプ場管理運営事業」は、市内４体育館、あけぼのパークゴルフ場、森林キャンプ場に関する指定管理料である。指定管理者は、市内４体育館は一般財団法人江別市スポーツ振興財団で、あけぼのパークゴルフ場と森林キャンプ場はいずれもエコ・グリーン事業協同組合である。第４期の指定管理業務計画に基づく変動や新型コロナウイルス感染症対策経費の増加により、前年度と比較して増額となっている。

続いて１３行目の「はやぶさ運動広場移転事業」は、昨年度、当審議会において審議いただいた「はやぶさ運動広場移転に係る基本構想」に基づき実施するもので、令和３年度は、少年野球場の造成工事を予定している。

別紙１に新少年野球場の造成イメージを掲載したので、ご覧いただきたい。図の左下に都市と農村の交流センターの建物、左上に既存の野球場があり、少年野球場は、図の右上、現在の多目的広場に設置を予定している。図の右隣には、整備内容を記載しているので図面と併せてご覧いただきたい。

まず、グラウンド整備であるが、現在の多目的広場は、草地となっているので、図の斜線で示した内野部分は、全面整備、外野は、図の①の箇所とファウルゾーンについて、芝貼りなどの整備を実施し、それ以外の外野部分については、現在の草地を活かす予定としている。②のコート外は、通路及び観覧場所として、舗装整備することとしている。次に、排水整備であるが、内野の暗渠に加え、③に示したとおり、外野にも一部暗渠を整備することとしている。附帯設備としては、バックネット、ファウルゾーンフェンス、④のダッグアウトのほか、ファウルポールを整備し、バックネット裏には、本部席の設置を予定している。令和３年度の工事費を含めた事業費予算額は、８，１９０万円となっている。

では、資料４にお戻り願いたい。下から５行目の「あけぼのパークゴルフ場改修整備事業」について、現在の３コース２７ホールに、新たに１コース９ホールを増設するために測量及び実施設計を行うものである。詳細を別紙２に記載しているので、別紙２を

ご覧いただきたい。

1の(1)施設概要については、ご覧のとおりで、ホール数は27ホールで運営している。(2)の利用者数であるが、平成30年度までは、3万人前後で推移していたが、平成30年度と令和元年度に市内の民間パークゴルフ場が1施設ずつ閉鎖されたことが影響し、令和元年度以降、当該施設の利用者数は増加傾向にある。

2のあけぼのパークゴルフ場ホール増設についてであるが、先ほど説明した民間施設の閉鎖により、競技者の活動の場が大幅に減少したこと、利用団体から、パークゴルフの大会が一般的に36ホールで行われることから、増設してほしい旨の陳情があること、市建設部において、策定中の次期「江別市営住宅長寿命化計画」であけぼの団地内の空き地等の余剰地について、パークゴルフ場の拡張を含めた地域の魅力増進に繋がる土地利用の検討を進めていること、これらを踏まえ、市民スポーツの環境向上と健康増進のため、あけぼの団地の余剰地を活用して、9ホール増設することとしている。

下の3では、現段階での想定スケジュールを記載している。今年度、建設部において、市営住宅長寿命化計画を策定し、令和3年度にホール増設に向けた現況測量・実施設計、令和4年度に増設工事を実施することとしている。裏面には、増設予定場所位置図を記載している。

では、資料4にお戻り願いたい。下から4行目、「スポーツ大会等振興補助事業」については、一般財団法人江別市スポーツ振興財団が実施する、原始林クロスカントリー大会などのスポーツ大会を開催する事業、トレーニングに関する相談や指導を行う事業、スポーツ指導者を養成する事業に対する補助である。予算額は、経費の見直しなどにより、微減となっている。

続いて、下から2行目、「オリンピック・パラリンピック推進事業」では、江別市にゆかりのある選手の応援、事前合宿への支援、パラリンピック採火式の実施を予定している。詳細を別紙3に記載しているので、ご覧いただきたい。

1のオリンピック・パラリンピック事前合宿の受入れについて、(1)の事前合宿受入れに係る市からの支援としては、平成28年度から実施している江別市スポーツ合宿誘致推進事業実施要綱に定めのある選手移送費、練習施設などの利用料補助などを基本としつつ、オリンピックに出場する選手団ということ踏まえ、相手国と協議の上、決定することとしている。(2)の新型コロナ対策に係る国からの財政支援であるが、選手団の受入れに際し必要な新型コロナ対策に係る経費として、一般客との距離を確保するための航空機等利用時の空席確保に要する経費や、宿泊するホテルのフロア貸切りに要する経費などについて、全額、国からの支援を受けられることとなっている。

2のパラリンピック採火イベントの実施については、江別市民体育館の駐車場を会場として、市民・障がい者スポーツ団体等が参加し、「東京2020パラリンピック聖火(えべつの火)」を採火するイベントを実施する予定としている。

3のその他として、江別にゆかりのある選手の応援看板や、出場が決まった際などに

本庁舎に設置する予定の懸垂幕に要する経費のほか、江別にゆかりのある選手が出場する試合のパブリックビューイングの実施に要する経費を令和3年度の予算案に計上している。

この、オリンピック・パラリンピック推進事業を含めた、令和3年度のスポーツ関係予算については、3月の定例会市議会の議決を経て、新年度予算として措置されるものである。報告は以上である。

(質疑等)

○花井委員：

万が一、オリンピック・パラリンピックが中止となった場合、計上している予算はどうなるのか。

○事務局（スポーツ交流事業担当参事）：

オリンピック・パラリンピックが中止となった場合、計上している予算は全額執行せず、そのまま残すこととなる。この予算のうち、おおよそ1,000万超については、先ほど説明があった、新型コロナウイルス感染症対策に係る部分になるので、国から100%補助を受ける形となっているが、そういった部分も含めて、執行停止となる。

○金内会長：

はやぶさ運動広場移転事業について、既存の社会人野球場と造成予定の少年野球場の間にフェンスは設置するのか。

○事務局（スポーツ係長）：

少年野球場には、1m20cm程度の簡易的なフェンスを設ける予定である。なお、社会人野球場には、既に簡易的なフェンスが設置されている。

○古川委員：

あけぼのパークゴルフ場改修整備事業について、令和4年度に9ホール増設工事が予定されているが、どのくらいの金額を要するのか。

○事務局（スポーツ課長）：

実施設計が終わった段階でないと、具体的な金額はわからないが、過去の事例からいくと、概ね数千万円程度はかかる見込みである。

○金内会長：

一昨年、森林キャンプ場にはクマが出没し、ここ最近では、鹿がかなり増えていると聞いている。鹿は原始林等に常に生息しており、危害を加える可能性は低いと思うが、キャンプ場の利用者には子どもたちもいる。防護柵の設置等の対策をした方が良いと思うが、事務局はどのように考えているのか。

○事務局（スポーツ課長）：

貴重なご意見ありがとうございます。今年の5月のオープンに向けて、防護柵の設置等も含めて、どのように対応していくべきか、指定管理者であるエコ・グリーン事業協同組合と協議していきたいと考えている。

（5）その他

○事務局（スポーツ係長）：

次回の審議会の開催は、新年度の7月頃を予定している。会議の内容については、令和3年度のスポーツ関係事業の報告などの予定である。また、現在の委員の方の任期が令和3年5月31日までであるため、来年度は2年の任期の改選年となる。4月下旬に各所属へ推薦依頼を送る予定である。

○議長（金内会長）：

事務局から報告があったとおり、次回の審議会は7月頃ということで、それまでの間に委員から質問等があれば事務局に連絡願いたい。また、改選についても、ご了承願う。それでは、以上をもって令和2年度第2回江別市スポーツ推進審議会を閉会する。

（6）閉 会

午後4時10分 終了